

知財ist研修2018シラバス

【知財ist研修2018】	
課程	経営課程
科目	R&D・標準化戦略と知的財産戦略
副題	～標準必須特許を巡る世界動向とIoT時代の知財の課題を検討する～
日程	2018年12月5日（水） 10:00～17:00
講師	三菱電機株式会社 常務執行役 弁理士 加藤 恒 氏
受講料（1日間）	会員18,000円、一般22,000円（消費税8%含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（45日間） 会員500,000円、一般600,000円 経営課程4日間おまとめ受講料（4日間） 会員66,000円、一般82,000円
説明	<p>現下のIoT時代は、R&Dの成果である先端技術が「繋がる」という共通項を有し、必然的に標準化が開発と同時進行で行われます。そのため標準必須特許の取扱い（いわゆるFRAND宣言）を巡って権利者と実施者が鋭く対立しています。従来通信と画像分野に特化していたこの問題は、スマート社会を標榜する今日では広範囲に関係する社会的課題となっています。</p> <p>本科目では、研究開発・標準化戦略の中に標準必須特許をどのように組み活用しまた対処するか具体例と課題を交えて考察し、併せてIoT時代に新たに浮上した課題であるビッグデータとAIのデータ利用権についても解説いたします。</p>
レポート、演習の有無等	レポート課題はございません。
事前質問について（研修日より1週間前まで）	<p>研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、11/29までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。</p> <p>（ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）</p>

知財ist研修2018シラバス

<p>研修項目（昨年度目次例等）</p>	<p>第一章 序論 (1) 現在の日本の立ち位置を考察する (2) I O T の進展と標準化動向</p> <p>第二章 標準と特許との関係 (1) 標準化の起源と重要性 (2) W T O / T B T 協定 (3) R A N D (F R A N D) の意義と問題点</p> <p>第三章 パテントプールと具体例 (1) M P E G 2 (2) A R I B デジタル放送、通信規格 (3) その他（バイオ・医薬分野）</p> <p>第四章 R A N D を巡る最近の動き (1) E x - A n t e 方式の議論 (2) 米国裁判所による R A N D の具体化 (3) 我国知財高裁における R A N D の判断</p>	<p>第五章 次世代技術の標準化と知財権 (1) G P S と世界の測位システムの現状 (2) 準天頂衛星システム</p> <p>第六章 I o T における知財問題 (1) データの所有権（データは誰のもの？） (2) データ利活用を図る契約の考え方</p> <p>第七章 まとめ (1) オープン・クローズド戦略 (2) 競争と協調</p> <p><補遺> 知財訴訟の現状と課題（要点） (1) 我国知財訴訟における裁判管轄 (2) 知財訴訟における判決（勝敗） 動向 (3) 知財訴訟戦略の要点</p>
<p>参考書籍等</p>	<p>加藤 恒著「パテントプール概説 改訂版」 発明推進協会発行 2009年</p>	
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パテントプールと標準化がどのように関連しているのか、ライセンサーとライセンシーの各々が考慮すべきポイントが良く分かった。 ・現役の企業幹部の方が講師だったので、実経験や最近の具体例をまじえて説明していただき、大変勉強になりました。 ・具体的なビジネスに繋がる例題で、非常に良い講義を受けさせて頂きました。 ・標準化に関する基本的な事項を確認することができました。また現状や今後の動向について、参考となる情報を得ることができました。 	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。 ・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付（ないし直接お渡し）いたします。 ・希望者は、講義（講師の声のみ）を録音したCDを借りることができます。事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。（返却は郵送でもかまいません。）（貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。） 	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本科目は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、5.5単位が認められる予定です。</p>	

2018.9.5